

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

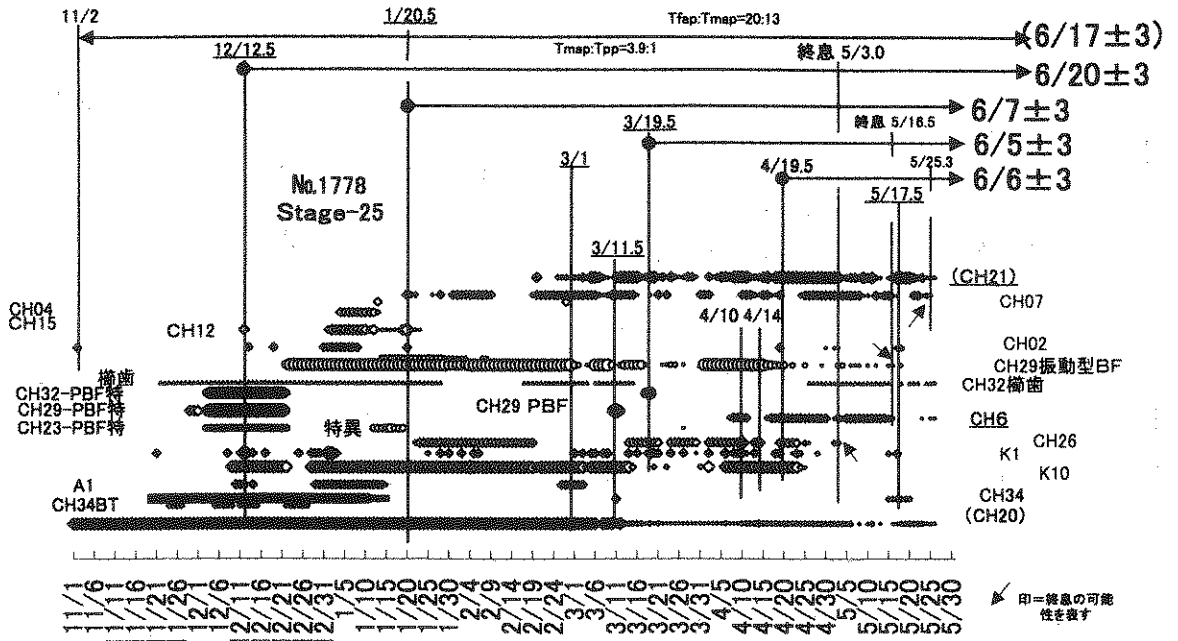
No.1778続報 顕著前兆静穏化傾向 6月初め前兆終息の場合 6/6±2 可能性有

主だった顕著な前兆は静穏傾向にあり、前回報告致しましたとおり、6/20±2以前に対応地震発生の可能性も否定できません。

6月初旬に現在の微弱前兆が終息した場合には、6月6日±2の可能性が濃厚となります。

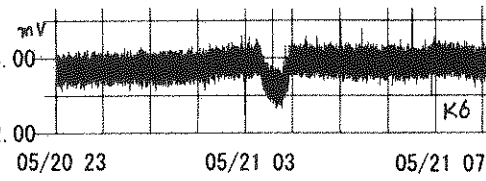
6月4日段階で前兆継続の場合は、6日±2の可能性は否定され、6月20日±2の可能性となります。

今後の観測で確認し、続報でご報告させていただきます。ご注意ください。



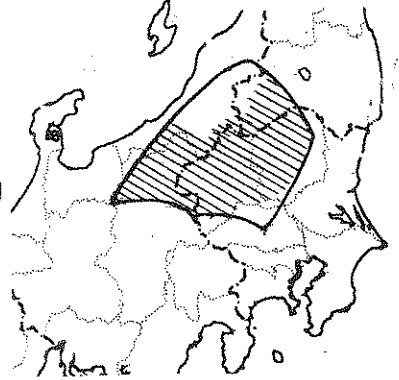
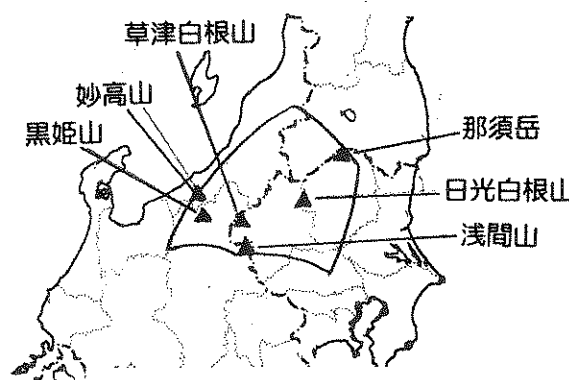
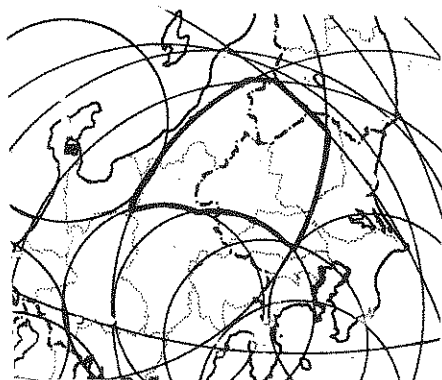
検知領域円式の係数R値修正 230~1100 これにより推定領域若干修正

5/21未明に徐々に観測された函館局によるBF地震前兆(右波形: M5.2 ±0.5 評価)は逆局(伊豆局)BFが無く、伊豆局



検知内限界内、かつ函館局検知外限界内として、ルト境界型地震の通常  $T_{map} = 5 \text{日} \pm 1$  の誤差内の5/25、千葉県南部でM5.1(気象庁速報値)として対応地震が発生致しました。前兆は5/21配信のNo.3099観測情報で配信公表済。地震前兆検知円は、放送局出力=Pkw 放送局からの距離=Dkm

R=係数としたとき、 $Dkm = Pkw \wedge 0.25 \times R$  (経験式) で求められます。今までは係数R値=200(内限界)~900(外限界)としていました。これまでの値では左前兆からは茨城南部が推定領域となります。しかし今回の千葉県地震を受けてR値の値を230~1100と修正した方が調和することが判り、修正致しました。その結果、No.1778推定領域も今までの推定領域より若干、東側にも広がる結果となりましたので、下図修正ご報告させていただきます。



① PBF・特異前兆からの推定域 太線領域内の可能性有

② 太線推定領域内の主な火山 火山近傍領域の可能性あるため

③ 斜線領域=火山近傍領域 推定震央領域の可能性考えやすい

- ◆推定領域: 上図③の太線領域内(周辺含む)=大枠推定域 斜線領域=火山近傍で可能性が考え易い推定領域
- ◆推定規模: M7.8 ± 0.5 震源浅い火山近傍陸域地殻地震の可能性
- ◆推定時期: 早い場合 6月6日 ± 2 (6/2迄に前兆終息の場合) 前兆継続の場合=6月20日 ± 3 後日修正の可能性有
- ◇推定発生時刻: 午前9時30分 ± 1 (又は午後4時 ± 3時間)